

千葉市

まつなみ町会だより

2024 第 354 号

松波町会ホームページアドレス <https://chiba-matsunami.jp/>
松波町会メールアドレス info@chiba-matsunami.jp



令和6年度 新年のごあいさつ

松波町会長 関 文夫



皆さま、新年明けましておめでとうございます。

今年は新年早々に能登地方を中心とした地域が大地震に見舞われ、私たちはそのニュースにがく然としました。そして今なお多くの方々が大変な避難所生活を強いられている状況にあります。このことについて、先ずは今回この地震によって亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、いまだ行方が分からなくなっている方たちが無事救出され、住民の皆さまが一日でも早く元の生活に戻れることを心より願っています。

さて、松波町会活動についてですが、昨年はコロナによる行動制限も緩和され、それにより町会活動も概ね通常の活動となり、夏祭り、敬老会、バス旅行、餅つき大会等を開催することができました。また皆さまはお気づきでしょうか。昨年はゴミ収集かごの強化修理を行い、壊れにくくなりました。このような活動を通じてゴミ収集所はすこしずつ改善してきていると感じていますが、皆さまはどうでしょうか。

住みやすい松波を目指し、今後も微力ながら活動していきたいと考えております。一方で今回の能登半島を中心とした大きな災害を目の当たりにすると、この様な時にこそ地域の人たちの繋がりによる助け合いがいかに大切となるかを思い知らされます。そのためには、日頃からの地域内でのコミュニケーションがとても重要になると痛切に感じます。

しかし懸念もあります。それは現在、町会理事選出に各区長が苦勞されていることです。時間の都合のつく限りで構いません。参加して頂けると大変有難いと思っています。

最後となりますが、本年も町会員及びそのご家族の皆さまの御健康と御多幸をお祈りいたします。

年末年始夜警パトロール実施!



石川県能登地方を震源とする地震に見舞われた皆様に、心からお見舞い申し上げます。

年末年始、松波町会理事、松波商工会、松波消防団、そして町会有志による夜間の防犯パトロールが実施されました。12月26日から29日、1月5日から8日までの計8日間、総勢39名が町内を巡回しました。これは防犯のみならず、防災意識の醸成にも寄与する重要な取り組みです。

新年を迎えたばかりの元旦、能登半島を中心に大きな震災が発生しました。松波町内でも1月4日には火災が発生し、松波会館が緊急時の避難先として機能しました。このような緊急時においても、町民の結束と協力が安全確保に貢献しました。

防犯と防災意識は日常から持続させるべき重要な要素です。普段からの相互協力が、緊急時における助け合いの精神を形成します。今回の夜警活動は、安全で安心できる松波町を創る一歩となりました。

防犯、防災意識の高まりを通じて、より良いコミュニティ形成を目指しましょう。

今後も、日々の防犯活動や災害時の迅速な対応に向け、皆様のご支援とご協力をお願いします。(防犯防災部部长 吉川)



もちつき大会 2023



ご参加
ありがとう
ございました!

2023年12月10日(日)午前10時~12時に松波会館の駐車場で「もちつき大会」が開催されました。

昨年はお餅を持ち帰って家で食べる、という状況でしたが、今年はコロナ・ウィルス感染症が5類になったため、もちつき大会はいつも通り会場で餅を食べることができました。

真っ青な晴天の下、あんころ餅や大根おろしで食べるからみ餅、きな粉餅など3種類を大人や子ども達が美味しそうに食べているのを見て、日常が戻ったなあと感慨深いものがありました。

一般参加者(当日飛び込み参加含む)が182名、子ども会のお手伝い&参加者は35名、町会・社協・有志が24名で合計241名の大盛況でした。もち米は30kgも蒸しました。

白は2個でたくさん子ども達も代わる代わる本物の杵で餅をつくことができました。



募集します。手作り作品

今年も3月9日(土)、3月10日(日)に、手作り作品展を開催します。写真、絵画、書、手芸品、工芸品など、たくさんの作品を募集します。

昨年の作品から



【開催日】 3月9日(土)・3月10日(日)午前10時~午後3時
【作品申し込み】2月1日(木)~2月24日(土)
【搬入日】 3月8日(金)午前10時~午後2時

松波コラム

松波 犬も歩けば ⑦



新年早々の能登半島地震は、お屠蘇(とそ)気分を吹き飛ばすほどのショックがありました。それはともかく今回の地震では、避難方法が進化していることに気づかされました。

29年前の阪神淡路大震災では被災者をバラバラにして収容した結果、避難所の人々の孤独死が相次いだことを反省して、東日本大震災では施設や集落ごとに避難させることが意識的に行われました。今回の能登半島地震でもその方向が踏襲されていることが確認でき、ややホッとしています。不幸にも松波が大地震に見舞われたら、顔見知りの人たち同士で無事を確認できる避難所のあり方をぜひ追求したいものです。(竹)

